

動 検 時 報



Vol.52-6 2019.12



○ What's New !

今号は検疫探知犬特集！！

9月に日本で初めて検疫探知犬として活躍したクレオが亡くなりました。平成17年に成田空港へ2頭（キャンディーとクレオ）の導入から始まった検疫探知犬は、現在、北海道から沖縄まで36頭が配置され今年度中には53頭、来年には更に増頭する予定で、携帯品の検査や広報になくてはならない我々のパートナーになっています。

今号では、導入時から現在に至るまで、そして検疫探知犬の素顔について紹介します。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ **動検時報 第6号 目次** ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

◎ トピックス	
・ 動畜産物輸出入検疫協会との意見交換会（検疫部畜産物検疫課）	3
・ 令和元年度動物検疫に関する連絡会議（関東・新潟）を開催（企画管理部危機管理課）	4
◎ 動物検疫関連情報	
・ 台湾の検疫制度を視察（企画管理部企画調整課）	6
・ 畜産農家における外国人技能実習生の受入実態調査に基づく防疫強化に対する取組 （長崎県県南家畜保健衛生所）	6
・ 神戸支所米子空港出張所が開設（神戸支所米子空港出張所）	7
・ 中部国際空港に第2ターミナルがオープン（中部空港支所検疫課）	8
・ 大分空港に検疫探知犬が初出動！（門司支所検疫第1課・3課）	9
・ ありがとう、クレオ ～検疫探知犬の軌跡～	9
◎ 所内情報	
・ 所内研修履歴（令和元年10月～11月）	10
・ 入省半年を経て（令和元年4月採用者）	10
・ 人事異動（令和元年10月2日～12月1日）	12
◎ 畜産物・動物の輸出入検疫数量実績（令和元年9月、10月）	17
◎ 令和元年10月～11月の出来事	19
◎ 動検通信（成田支所長）	20

◎トピックス

・動畜産物輸出入検疫協会との意見交換会 (検疫部畜産物検疫課)

令和元年10月30日、横浜第2合同庁舎共用会議室において、「動畜産物輸出入検疫協会との意見交換会」を開催しました。同協会からは鈴木会長はじめ14名のほか、今年もオブザーバーとして北海道、伊勢湾、大阪の協力会から6名が、動物検疫所からは伊藤所長ほか10名が出席しました。畜産物検疫課長の議事進行により、協会側からの要望及び提案に対して動物検疫所側が回答するという形式で意見交換を行いました。

協会側からは、京浜三港（東京港、横浜港及び川崎港）の日々の業務における個別の業務改善要望のほか、昨年と同様、畜産物検査の合理化に関わる「現物検査の検査率」、「現物検査／検査省略の判定時間（タイミング）の変更」、「動物検疫申請の自由化（受付部署の一本化）及び検査証明書原本確認の見直し」等についての提案がありました。特に提案議題に対しては、企画管理部から今後の方向性等についても示され、限られた時間の中、充実したものとなりました。終了後に動物検疫所主催の懇親会を開催し、動物検疫業務の円滑な推進のため、協会員との間で活発な情報交換を行いました。

・令和元年度動物検疫に関する連絡会議 (関東・新潟)を開催 (企画管理部危機管理課)

令和元年11月1日に動物検疫所横浜本所で、関東圏の都県を対象とした動物検疫に関する連絡会議を開催しました。動物検疫の概要のほか、国内防疫支援、受託検査、検査の品質管理について紹介し、係留施設を徒歩で見学、防疫資材庫や精密検査室の見学も行いました。防疫資材庫では実際にCSF発生の際に使用されている電撃式殺処分機を参加者が手に取ったり、除染テントの中に入ったりと様々な体験をしていただきました。

意見交換では、空港に設置している消毒マットの効果やCSFワクチン接種開始に伴う輸出対応についての質問、検疫探知犬の配備についての要

望がありました。

関東でも9月に養豚場でCSFが発生し、野生いのししの感染も拡大しています。今後も都道府県と情報交換を密に行い、国内防疫の支援や水際検疫の強化に努めてまいります。

◎動物検疫関連情報

・台湾の検疫制度を視察

(企画管理部企画調整課)

今般、我が国のASFの侵入防止対策の参考とするため、令和元年10月3～4日、台湾の動物検疫機関である動植物防疫検疫局を訪問し、桃園国際空港及び基隆港の旅客携帯品の検査体制、郵便局における国際郵便物の検査体制を視察するとともに当局との意見交換を行いました。台湾の畜産業においては養豚が最大の産業であり、ASF侵入は経済に甚大な影響を与えることから、昨年12月に行政院農業委員会主導の「ASF中央災害対策対応センター」が設置され、様々な水際対策が展開されていました。

＜旅客携帯品の検査＞

台湾では従来から、桃園国際空港以外の空港と海港における旅客携帯品全てに対し、税関によるX線検査が行われています。旅客や到着便数の多い桃園国際空港では、機内預託荷物については全ての荷物を、機内持込の手荷物についてはASFリスク国（アジア地域における発生国及びその周辺国）からの到着旅客の荷物を対象にX線検査が行われているほか、我が国同様、税関検査場内では検疫探知犬（ビーグル犬）が活動していました。



そのほか、旅客が航空機や船から降りて税関検査場まで移動する間に、多数のモニターが設置されており、動物検疫に関する動画放送や柱一面の大きなポスターなどが、旅客の目に付くように掲示されていました。

(次号に続く)

・畜産農家における外国人技能実習生の受入実態調査に基づく防疫強化に対する取組

9月に開催された第60回全国家畜保健衛生業績発表会において、長崎県県南家畜保健衛生所からの発表が農林水産大臣賞を受賞しました。長崎県での取組は動物検疫所としても、都道府県・関係団体の方々と連携して進めていくべき分野となりますので、ここで紹介します。

(長崎県県南家畜保健衛生所)

近年、畜産農家においても外国人技能実習生(以下「実習生」という。)の受入が増加しており、病原体の侵入防止対策上重要なリスク要因の一つと考えられます。そこで、管内畜産農家620農場における実習生の受入実態調査を行いました。調査の結果、23農場において56名の実習生が研修中で、全員が越境性動物疾病の発生地域から来日していました。中には、実習期間中の帰国、農場主と実習生のコミュニケーション不足、実習生宛郵便物の把握の不徹底等が確認されました。また、送出機関及び監理団体において、事前に家畜防疫に関する研修は未実施でした。以上のことから、飼養衛生管理基準の遵守により病原体の侵入防止が図られるものの、実習生の家畜防疫に関する知識や農場主とのコミュニケーション不足は、病原体の侵入防止及び早期発見・早期対応におけるリスク要因になると考えられました。そのため、実習生ヘリーフレットを配布し、家畜防疫について直接説明を行ったほか、農場主に対して飼養衛生管理基準の再確認、実習生との密なコミュニケーションと郵便物の把握徹底を指導しました。



養豚農家の実習生に対し、家保職員が資料や翻訳アプリを使用して説明

また、監理団体で研修中の、畜産以外の分野も含めた全ての実習生に対して、家畜防疫に関する研修を実施しました。



監理団体で研修中の実習生に対し、家保職員が通訳を介して説明

今後も実習生、受入農場、監理団体等の関係者との連携を強化し、家畜防疫の情報を確実に周知することによって、防疫対策の徹底を図っていきます。

・神戸支所米子空港出張所が開設

(神戸支所米子空港出張所)

令和元年10月1日、美保飛行場(米子空港)に米子空港出張所が開設されました。米子空港出張所は、鳥取県境港市に位置し、米子空港、鳥取空港、出雲空港、境港、浜田港の5空海港を管轄します。出張所開設に合わせ、動物検疫説明会と広報キャンペーンを実施しました。山陰地方初の出張所ということもあり鳥取県及び島根県の畜

産主務課をはじめ、畜産関係機関から多数御参加をいただき、また、関西空港から派遣されたボウによる探知活動も公開しました。米子空港での検疫探知犬の活動は初めてということもあり、テレビ・新聞を合わせ7社が取材に来るなど、多くの注目を集めてのスタートとなりました。

これまでは岡山空港出張所から出張対応で検査を行ってきた米子空港ですが、これからは中国地方の日本海側の拠点となる出張所として、動物検疫の任に当たります。

最近では韓国からの訪日旅客が減少していますが、米子空港では来年1月から新たに中国（上海）便が就航します。ASFをはじめとした越境性動物疾病等の侵入防止のため、県や関係機関等との連携・協力をいただきながら、水際検疫の強化に取り組んでいきます。

・中部国際空港に第2ターミナルがオープン

（中部空港支所検疫課）

令和元年9月20日に中部国際空港第2ターミナル（LCCターミナル）がオープンしました。オープンに伴い、第1ターミナルに就航しているLCC航空会社の一部が移動し、その後も順次移動（年内に8社予定）しています。

LCCターミナルは、CIQ棟から直線距離で約300m、徒歩5分程で行けることから到着時間に合わせて職員が靴底消毒・口頭質問を含めた携帯品検査を行っていますが、早朝便（5:00着）と最終便（20:30着）対応のため従来の2名夜勤から3名夜勤での対応を行うこととしました。年内には、プライベート機のCIQ対応もLCCターミナルで行うこととなっており、日増しに対応業務が増える予定です。

幸いにも他官署等と良好な協力関係ができていることから、この関係を維持しつつ検疫の漏れがないように今後も対応していきたいと思えます。

・大分空港に検疫探知犬が初出動！

（門司支所検疫第1課・3課）

ラグビーワールドカップが、大分スポーツ公園総合競技場でも開催されました。観戦には海外から多くの旅行者が来日するため、口蹄疫やASF等の越境性動物疾病の侵入リスクが高まることから、9月20日に大分空港で動物検疫広報キャンペーンを行い、同空港では初めてとなる検疫探知犬による探知活動を実施しました。

検疫探知犬は、福岡空港からタンク号を派遣しましたが、初めての場所にもかかわらず、落ち着いた様子で積極的に入国者の手荷物の探知を行っていました。大分空港への検疫探知犬の派遣については、畜産業が盛んである大分県の関心も高く、効果的な水際検疫を確保するため、引き続き計画的に実施したいと考えています。また、広報キャンペーンでは、大分県養豚協会、大分県農林水産部畜産振興課及び家畜保健衛生所と合同で、旅行者への海外での農場の立入や肉製品の持込みに関する注意喚起と広報物の配布を行いました。

今般の広報キャンペーンや探知活動は報道機関からも取材を受け、テレビニュース等で報道されたことから、より多くの方に動物検疫や検疫探知犬について知っていただく良い機会になりました。なお、大分県では大分空港の国内線エリアに、国内線旅客を対象とした靴底消毒用マットを設置しており、ラグビーワールドカップ開催を機に、さらに水際検疫と国内防疫の連携が強化され、家畜の病原体が国内の農場への侵入防止が図られています。引き続き同県と連携して、広報活動に加え発生リスクの低減に向けた活動にも取り組んで参ります。



動植物検疫探知犬特集

・ありがとう、クレオ ～検疫探知犬の軌跡～

9月下旬、我々の元に、1頭の検疫探知犬OBの訃報が届きました。今では36頭に増え、動物検疫所の花形になった検疫探知犬について、導入した当時を振り返るとともに、今、現役で活躍している検疫探知犬の素顔を紹介し、初代探知犬であるクレオ号の追悼としたいと思います。

○検疫探知犬の導入

平成15年当時から、訪日外国人数の増加を背景に輸入が禁止されている地域からの畜産物の検査が年々増加してきました。このことから、入国者が検査を受けずに不正に我が国に持ち込む畜産物の数も増加していることが予想され、家畜の伝染性疾患の国内の侵入が危惧されました。

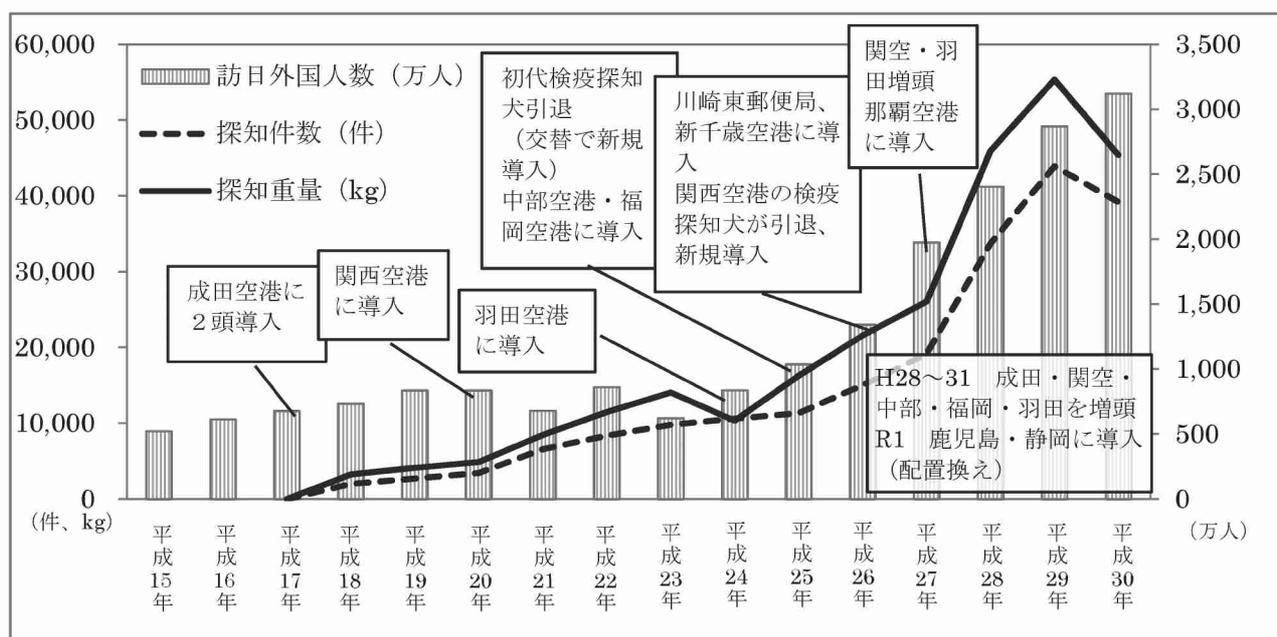
そこで、動物検疫制度を広く周知し、入国時に畜産物を携行している場合の届出を促し、入国者が持ち込む畜産物を確実に検査する体制を整えることを目的として、犬が持つ鋭い嗅覚を使って携行品に畜産物が入っていないかを調べる「検疫探知犬」を導入することとしました。その頃、世界では米国、豪州、ニュージーランド、韓国等で

導入されており、畜産物所持の確認や輸入検疫制度のアピール等に大きな成果を上げていました。

まずは、検疫探知犬を導入している国への現地調査や検疫探知犬の専門家を豪州から招聘する等により情報を収集し、導入準備を始めました。導入する検疫探知犬は、入国者の目に触れ、空港の税関検査場で活動することから威圧感がなく、かわいらしさを人目を引くことも期待し、更には、他の犬種に比べて嗅覚細胞の数が多く嗅覚能力が高いビーグル犬を選定しました。

そして平成17年12月、豪州での検疫探知犬及びハンドラーとしての職員の訓練を経て、2頭のビーグル犬が日本で初の検疫探知犬として、成田国際空港で活動を開始しました。

○検疫探知犬の導入と探知数



訪日外国人数：日本政府観光局

○豪州での研修

(関西空港支所検疫課 濱名仁)

平成 17 年、検疫探知犬を導入するに当たり、私は國分技官と共に、豪州での研修を受講しました。研修は初めに犬のハンドリング技術などの基礎知識をゴールドコーストで学んだ後、シドニー郊外にある豪州政府がトレーニングを委託するハンロブ・インターナショナル・ドッグトレーニング・アカデミーで犬を使った訓練が行われました。

この施設は、近くに国立公園もあり、敷地内に野ウサギが頻繁に出るなど自然環境に恵まれた場所で、豪州国内で活躍している検疫探知犬のほか、介助犬、一般のペット（犬、猫）のトレーニングも行っています。私たちはここで 10 月中旬から 8 週間にわたり、検疫探知犬の日常の飼養管理を含めて、ハンドリングなどの訓練を受けました。

日本向け検疫探知犬のトレーニングは私たちが豪州に到着する前から既に始められており、研修はまずチーム（ハンドラー&検疫探知犬）を選定するためのマッチングテストから始まりました。約 1 週間、3 頭の候補犬を順番にハンドリングし、トレーナーによってハンドラーと犬の相性が判断されて國分技官とキャンディー、私とクレオのペアが決定しました。チーム決定後は、飼養管理（散歩、ブラッシング、給餌等）やハンドリング訓練は信頼関係を築くために重要なことからチームごとに行いました。



研修の 1 日は、朝の散歩や犬のブラッシングといった飼養管理から始まり、次に空港の旅具検査エリアを再現した部屋でスーツケースやカート

ンボックスを用いてハンドリング訓練を行いました。訓練の合間にはハンドラー業務をする上で必要な「ドッグトレーニング」、「ドッグハンドリング」、「飼養管理」、「犬の疾病」等に関する講義を受け、最後に夕方の散歩と給餌をして 1 日の終了です。

この研修では、ニューカレドニア及び豪州の検疫探知犬ハンドラー（検疫官）とも一緒にトレーニングをする機会があり、休憩中に検疫探知犬事情、検疫制度について話を伺うこともできました。また、州警察の麻薬探知犬や爆弾探知犬の導入テストに同行させてもらうなど、貴重な経験も色々させてもらい、日本に検疫探知犬を導入するに当たり、大変参考となる、有意義な研修となりました。



ニューカレドニアからの研修生の研修修了。一番左が國分技官、右から 3 番目が濱名技官。右から 2 番目がトレーナーのオースティン氏。

○日本での本格稼働

(羽田空港支所検疫課 國分英行)

豪州から帰国した後、平成 17 年 12 月 10～22 日の間、豪州からトレーナーも来日して、成田空港第 2 ターミナルビルで馴致訓練を行いました。

豪州では、連日 30℃ を超える暑い日が続く中、専用施設のみで訓練を実施してきましたが、気候が真逆で霜が降りる寒い日本で、かつ、私たちにとって初めてとなる空港での訓練が始まりました。飼育・訓練環境が大きく変化したことで、検疫探知犬が体調を崩すのではないかと、モチベーションが低下するのではないかと不安があり、また多くの旅客のいる中での実働訓練であった

ため、とても緊張した記憶があります。

訓練は、箱を用いた基礎的な訓練から開始し、少しずつ難易度を上げながら、最終的には実働訓練を行いました。実働訓練中に旅客の肉製品を探知したときは、これまでの訓練が順調に進んでいたことを実感し、安堵しました。また、当所職員が検疫探知犬の嗅覚能力に驚嘆している姿が今でも印象深く思い出されます。

馴致訓練期間中には、成田空港の出発ロビーで日本初となる検疫探知犬のお披露目会が盛大に行われました。探知活動の撮影では、多くの報道関係者（テレビ、新聞、雑誌等）に囲まれ、検疫探知犬に対する関心の高さに驚きました。



成田空港でのオースティン氏による指導

馴致訓練が終了し、本格的な探知活動を開始するとクレオのチームは確実に探知実績を上げていきました。一方、私とキャンディーのチームは、なかなか実績が上がらず、その原因が、犬の体調不良なのか、ハンドリングに問題があるのか、環境の変化によるストレスなのか、いろいろ悩み考えながらハンドリングする日が続きました。そのような時、濱名技官が不在になる日があり、濱名技官に代わり、私がクレオのハンドリングを行う機会が訪れました。濱名技官の不在時にクレオの状態を低下させないように、これまでの訓練のとおり忠実にハンドリングしたところ、クレオはしっかり肉製品を探知しました。そのときのクレオは、自信を失いかけていた私に対し「キャンディーの実績を求め過ぎてない？もう少し余裕を持ってはどう？」と訴えかけているように感じ

ました。実績を上げることができず、焦っている気持ちがキャンディーに伝わっていたことに気付かされ、自分の未熟さを痛感し、キャンディーに対する申し訳ない気持ちで一杯になりました。

もう一度、自分のハンドリング技術を振り返り、自信をもってキャンディーと接することで、キャンディーのモチベーション、探知実績も格段に向上しました。2頭に支えられながら、日本初の検疫探知犬チームをスタートすることができました。

○キャンディー・クレオの引退生活

平成25年6月28日成田支所で検疫探知犬キャンディー・クレオの引退式が行われ、動物検疫所長より感謝状が送られました。キャンディーはペアで活躍したハンドラー國分技官が、クレオは当時成田支所職員だった佐藤技官に引き取られました。

[キャンディー]

引退したキャンディーを國分家で新しい家族として迎え入れ6年が経過し、令和元年6月で16歳になりました。昨年くらいから腎機能が低下し、投薬生活が続いていますが、食欲旺盛で毎日朝晩元気に散歩しています。散歩中に近所の方から名前を呼ばれたり、他の犬とすれ違っても一切振り向こうとせず、相変わらず愛想がありません。現役中はハンドラーのコマンドでキビキビ動いていましたが、現在はのんびりと余生を過ごしています。



現在のキャンディー

[クレオ]

クレオは佐藤家の一員となり、この9月に永眠するまで我家の家族それぞれと様々な思い出を残してくれました。余程厳しく躰けられていたのか、吠えることがなく、何をされても吠えません。何処を触っても病院で注射をされても嫌がらず、獣医師も驚くくらいで、病院では扱いやすいと人気者になっていました。ただ、唯一、吠えることがあり、それは、散歩でウエルシュコーギーを見ると吠えだすのでした。何故かクレオはウエルシュコーギーが嫌いでした。

た。エサをあげるときは「待て」をすると「OK」が出るまで食べるのを待つ辛抱強い犬でしたので、ある時、息子が「待て」をしたことをテレビに夢中で忘れてしまい、気付いたらクレオが涎をタラタラ流して待っていたなんてこともありました。クレオは車に乗るのが好きで、ハッチバックの車の荷台にケージに入れずそのまま乗せるのですが、いつも後ろを眺めていて、後ろの車の人がびっくりしたり、手を振ってくれたりしていました。まだまだクレオロスです。最後に、クレオを引き取らせていただきましたこと、感謝いたします。

○ハンドリングの委託

現在、一部の検疫探知犬の探知業務（ハンドリング）や飼養管理は民間の3社に委託しています。ここでは、熱い想いで業務に当たっている3チームを紹介します。

【株式会社フロントベル 鈴木真理奈さん】

私が検疫探知犬を知り、ハンドラーになりたいと思ったのは専門学校生の頃でした。その後、民間への委託業務という事もあり、ハンドラー募集の機会をうかがいながら母校のドッグトレーナーコースのスタッフとして5年間働いたのち、念願のハンドラーに就く事ができました。

現在は川崎東郵便局でハーパーと探知業務に当たっています。当時、郵便局へは初めての導入という事もあり、試行錯誤しながらの活動が続きました。特に意識をしていたことは、ハーパーの探知への意欲を高め、維持し続けることです。郵便局は空港と異なり旅客がいないため、流動的な状況はほぼありません。活動場所も一か所で決められているので環境的に刺激や変化が少なく、何年か経過しマンネリ化してきても探知意欲が勝る様にハーパーを育ててきました。6年目の今でも検査官の方々に「ハーパーは本当に探知が好きだね」と言われると、とても嬉しく思います。

探知の際は郵便物が密集した状態で活動します。そんな中でも嗅いですぐに反応したり、少し距離のある位置から吸い込まれる様に荷物を特定しターゲットを発見したりします。時には犬も荷物の特定に時間がかかることもありますが、そ

んな場合は荷物の数を絞り、間隔をとって並べ直し、再度嗅がせて特定していきます。困難な中でもターゲットを発見していくハーパーはいつ見ても感動します。

ハーパーと息を合わせて“一緒に”活動している時は本当に楽しくやりがいを感じます。ASFの対策や東京オリンピック・パラリンピックも控えているので、今後もハーパーと共に探知業務に精進していきます。



鈴木ハンドラーと
ハーパー

【有限会社関空ペット 山本愛さん】

私は幼い頃から、犬猫をはじめ様々な動物たちに囲まれて生活をしてきたので、将来、動物に携わる仕事に就くことに迷いはなく、自宅で飼育している動物たちの世話を積極的に行っていました。

高校を卒業後、姉と同じ専門学校に通い、トリマーの勉強などを行っていた時に、現在の職場の社長から「探知犬のハンドラーになってみないか」とお誘いをいただき、「これこそが私のやりたい仕事だ」と考え、その日のうちに履歴書を提出したのでした。

海外研修に赴いた際に、プロのハンドラーの方から、犬の接し方や、犬といる時は第一に犬の気持ちを考えて行動するといった心構えを教えてくださいました。その他にもリードの使い方や指示するタイミングなど、技術面においても丁寧に指導していただき、私自身、日々成長しているのが実感できる研修となりました。指導して下さったトレーナーの先生に「毎日が勉強です。自

分自身がどのようなハンドラーになりたいのかを常に考えて、犬のためにしっかり勉強して成長していきなさい。」と言っていた言葉が深く心に残っています。

研修でのトレーニング内容は、空港を想定し、スーツケースやカートを置き、実際に犬を使ってハンドリングを行いました。しかし、最初は全く思うようにできず、犬に振り回されるばかりでした。

そんな時、トレーナーの先生から笑いながら「もっとリラックスして、犬と一緒に探知することを楽しんでごらん。」とアドバイスをいただき、私自身も楽しんでトレーニングをしてみると、徐々に犬と息が合うようになっていき、とても嬉しかったことを覚えています。

今でも犬と探知業務やトレーニングをする時は、心から犬と一緒に楽しむように心掛けています。空港では仕事をする際は、犬が怪我をしないように周りをよく観察して探知業務に取り組むことと、犬が出すシグナルをよく見て即座に対応することを一番に心掛けています。

これからはどのようなタイプの犬であっても、その個体の能力を十分発揮できるよう、海外研修で習得した技術や、指導いただいたトレーナーのアドバイスを忘れずにトレーニングを行い、周りの探知犬ハンドラーも見ながら勉強を続けて行きたいと思っています。

【株式会社 MILAN 飯塚昌子さん】

私は自社に入社してから様々な犬の訓練に携わってきました。その中で検疫探知犬の育成やハンドリング、その目的を学び、日本の水際を守るという仕事に強く魅力を感じ、それがきっかけで

ハンドラーを目指すようになりました。海外研修で学んだことを活かしながら日々の訓練を重ね、空港で試験を行い、合格して初めてハンドラーとしてデビューしました。

現場では、多くの旅客や荷物が行き交う中で探知を行うことが多く、常に安全な環境でできるわけではないので、ハンドラーは犬の安全にも注意しながら動くよう心掛けています。そういった中で必要になってくるのが犬との信頼関係です。日々の訓練や体調管理も、365日朝から晩まで担当のハンドラーがメインでやることによって、より強い信頼関係が生まれるので、ちょっとした日常の関わりも大事にしています。

自社では検疫探知犬であるビーグルだけでなく、ドゥードルやシェパードを使った救助犬などの育成訓練や管理も行っているため犬と接する時間が長く、検疫探知犬との共通点や違いを学ぶことができます。

実働に出て探知活動を始めて、その都度出てくる持込禁止品を見る度に日本の農業の安全を守ることにも貢献できている、という達成感を感じています。

今後も自国の安全のためにパートナーとともに探知活動を精一杯頑張っていこうと思います。



メグ



(左) 検疫探知犬はそのかわいらしさから広報活動にも一役買っています。

トレーディングカードは子供たちに人気。2018年にはカレンダーも作成し始めました。ホームページに掲載中です。

(右) 初代検疫探知犬のクレオとキャンディーは本にもなりました。



○検疫探知犬のとある1日

AM 9:00 朝ご飯

食べた後はトイレを兼ね運動場に出ます。
気ままにのんびりしたあと、犬舎で休息します。



犬舎



フードの量は体調を見て調整します



AM 10:00 出勤

ハンドラーが健康チェック、歯磨き、ブラッシング、シャンプー等をし、探知場所（税関検査場）へ行きます。検疫探知犬は探知活動が大好きです。



定期的にシャンプーされます

休日は、運動場でのんびり日向ぼっこしたり、犬同士で遊んだり、草むらを嗅いで昆虫を探索したりしています。



次の探知までひと休み



おひさま、最高〜



PM 4:00~7:00 夕ご飯

探知活動が終わったら、おやつを貰った後でも別腹です。



お腹ペコペコ



PM 8:00~9:00 就寝

運動場でトイレの後、就寝します。
このほか日中トイレのために、定期的に運動場へ出すようにしています。
探知場所との往復だけでなく、運動場で遊んで気分をリフレッシュさせることや、休日にしっかり休みを取ることで、検疫探知犬は仕事にメリハリをつけることができます。



今日もお肉探し楽しかった

○検疫探知犬専門用語

◇リワード

リワードは検疫探知犬にとっての御褒美です。犬により遊びであったり、おやつであったり、高い声で褒めることや体をなでることもあったりします。検疫探知犬は食いしん坊のビーグルが多いということもあり、おやつをメインのリワードにしています。使っているのはペットショップに並ぶ犬用のおやつがメインで、ドッグフードを使うこともあります。支所や犬種によってはゆでた鶏肉や豚肉を犬用おやつ程の大きさに切りリワードに使うこともあります。

ターゲットを見つけたときに与えるおやつは、通常1回につき1粒が基本ですが、時々数粒のおやつを一度に与えることがあり、これをジャックポッドと呼んでいます。探知に対するモチベーションが下がっているときに使うこともあり、これが探知にゲーム性を加え、検疫探知犬に「もっと見つけよう！」という気持ちにさせます。

ハンドラーは検疫探知犬がターゲットを見つけたときは、おやつを与えるとともに体をなでて高い声で「グッボーイ！」と声をかけ、一緒に喜びます。このとき、ハンドラーはおやつだけでなく様々なリワードをシャワーのように検疫探知犬に浴びせているのです。



◇コート

探知活動や広報活動等の仕事をする際、検疫探知犬は青色のコートを着用します。コートには漢字と英字で「検疫探知犬」と刺繍が入っています。

各検疫探知犬で大きさや体型が様々なので、3サイズのコートを用意しています。更に首とお腹の2か所でサイズ調整ができるようになっています。

コートの着方は各ペア（ハンドラー&犬）によって様々です。犬の背中にコートを載せて首とお腹部分を留める着方もあれば、輪状にしたコートの首部分に犬の頭をくぐらせる着方もあります。

実は、このコート、最初から喜んで着てくれた犬ばかりではありません。中には、着るのを嫌がり逃げ回っていた犬もいましたが、今はコートを見せると自分から進んで着てくれるようになりました。今日も仕事着のコートを身に着けて、楽しみながら探知に励んでいます。



○検疫探知犬&ハンドラー（家畜防疫官）の仲間たち



◀ダブ・國分（羽田、4年）
好奇心旺盛で身体能力も高く仕事も遊びも積極的です。動くものに（目の前を横切る）大変興味があり、飛んでいる鳥、風で飛ばされる落ち葉などを見ると俊敏な動きで追いかけます。

▶ボウ・米内（関空、4年）
臆病なところがある反面、好奇心旺盛な性格で普段の関空での探知だけでなく、数々の出張先での探知やステージイベントをこなす頼もしさを持ち合わせています。



セシル・福田 ▶
(関空、5年)

やんちゃで、前向きな頑張り屋さんです。体は大きめ、毛は全体的に黒っぽい。犬、人、おもちゃ、食べることを大好きです。ターゲットを探知するときに、座ることを忘れてしまうくらい夢中になって嗅ぐことがあります。



◀ アルバート・岩永
(関空、5年)

とても甘えん坊。富士額とお尻の両サイドにあるクルンっと渦を巻いたつむじがチャームポイント。「ファットアルバート」という米国のキャラクターが名前の由来。いつも楽しそうに尻尾を振りながら探知をしています。

▼ バイユー・橋本 (関空、5年)

温和な性格。鼻と手足にぶち模様、年を経て現在は白まゆげ。顔に白い毛が多くて、落ち着いているからか、探知活動中「おじいちゃん犬」によく間違えられます。見た目と違って、とってもタフな犬です。



▼ タリー・福士 (成田、4年)
穏和でまじめな性格。アメリカ生まれ。アメリカのトレーニングセンターのスタッフの間で「ニンジャ」と呼ばれていました。(ジャンプ力が高いので)



▲ フジ・遠藤
(羽田、5年)

普段は優等生お坊ちゃんキャラですが、ハンドラーに他の犬が近づくと般若顔になるところがギャップ萌えです。ネズミを追跡することが大好きで、モルモットの肉を探知したこともあります。



バックキー・織田 (羽田、8年) ▶

バックキー号は2012年1月に羽田空港初の検疫探知犬としてニール号と共に導入されました。2017年3月までの5年2か月、植物防疫所の初代ハンドラーがハンドリングを行い、同年4月から私がハンドリングを引き継ぎ、今に至ります。普段は非常に落ち着いた犬ですが、探知活動がとても好きで、活動前に検査場に入る扉の前で元気にジャンプする姿などは別の犬に思えるくらいです。また、スッと静かに寄ってきて、撫でることを要求してきたりするなど、甘えん坊なところもあります。これまで二人のハンドラーと一緒に探知活動を行い、非常に多くの植物や畜産物を見つけてきました。今年で引退となるため、これまでたくさん働いてきた分、引退後はゆっくりと残りの時間を過ごしてほしいと思います。





▲ニール・本田（右）/林（左）（羽田、8年）

人懐こい性格（少し天然入ってます）。鼻の周りのそばかすが特徴。私の地元（鹿児島空港）で出張探知活動を行い、地元の新新聞・テレビ局に取り上げられました。（本田）
晴れた日の芝生でごろごろするのが好き。少し天然。後輩の私を引っ張ってくれる頼もしい先輩です。（林）
マルチハンドリング実施中です。

○マルチハンドラー

羽田空港支所では、効率的な探知活動を行うため、平成30年8月よりマルチハンドリングの試行に取り組んでいます。マルチハンドリングとは、同一の検疫探知犬を複数名のハンドラーが交替でハンドリングすることです。試行に先立ち、平成30年3月から6月までの約4か月間、ニールを用いてハンドリング未経験の職員に対しハンドリング研修を行いました。研修は、ハンドラーがアメリカで受講した研修プログラムに基づき、これまで培ったハンドラーの実務経験を反映させた内容としました。

現在は、両ハンドラーを異なる勤務パターンに設定して幅広い時間帯で探知活動を行う体制を整えています。試行開始後、従前に比べてニールをより多くの便に出動させることができ、輸入禁止品等の摘発以外にも動植物検疫に関する広報及び抑止効果が期待される他、不正持込み等へのフレキシブルな対応を可能としています。

これまでのところ、マルチハンドリングによるニールへの影響はありませんが、今後継続していく上で、検疫探知犬に与える影響にも配慮しつつ、両ハンドラーとニールが一丸となって、日々探知活動を頑張っていきます。



▼ジャグ・小谷（成田、4年）
頑固でずるがしこい性格・足が短くコーギーや子犬に間違われる。人が好きで、植物防疫所と合同の小学校検疫教室でのふれあいタイムでは、子供たちになでてもらおうと、上機嫌になります。



○検疫探知犬イメージキャラクター

平成17年12月の検疫探知犬を導入と共に、動物検疫所のイメージキャラクターが決まりました。後に、所内の公募により「クンくん」と命名されました。



今日も全国の空港で検疫探知犬が活躍中です。検疫探知犬・ハンドラー・動物検疫所職員一丸となって、日本の畜産業を守っていきます！

◎所内情報

・所内研修履歴（令和元年10月～11月）

【令和元年度新規採用者集合研修（後期）（第1回）】

期間：令和元年10月11日～12日

場所：横浜本所

人数：4名

内容：所長講話、国家公務員の心構え、人事と研修、畜産物検査について、動物検査について、動物検疫所の業務

【令和元年度家畜防疫官（行政1）研修】

期間：令和元年11月11日～15日

場所：横浜本所

人数：15名

内容：動物検疫所をめぐる情勢と役割、家畜衛生をめぐる情勢（国内防疫・国際衛生）、生産現場における家畜衛生の取組、狂犬病及び感染症法の国内対策、飼料安全の取組、食品安全委員会の役割と食品健康影響評価、説明力の強化、情報セキュリティの脅威と農林水産省における対応、食品安全におけるリスクアナリシス及び危機管理、プレゼンテーション、課題研修・発表及び意見交換等

・入省半年を経て（令和元年4月採用者）

○緑川 舞（北海道・東北支所検疫課）

入省してから半年間、空港での携帯品検査業務や係留施設での動物の検査業務、クルーズ船の靴底消毒対応など様々な研修を受け、動物に接触する可能性のある様々なものが家畜防疫官の検査を受けていることに驚くとともに、動物検疫業務の幅広さを改めて感じる事ができました。

現在は空港を中心に日々の業務に当たっていますが、様々な場面で関係法令に基づいた正確な判断が求められます。どのような予期せぬ場面でも自分で判断できるよう、日頃から業務と照らし合わせて勉強し、理解を深めていきたいと思えます。

また、ASFがすぐそばにまで迫っている中で来年にはオリンピックを控え、様々なメディアに

動物検疫が取り上げられるようになり、より一層使命感を感じています。どんな状況でも日本国内に監視伝染病を侵入させることがないように、今後も研修で学んだことを生かし水際防疫に取り組んでいきたいと思えます。

○佐々木華和子（成田支所旅具検疫第1課）

成田支所に配属されてからの半年間、空港での業務をはじめ、港での畜産物検査や係留施設での検査業務といった様々な場所での研修や業務を通じて、動物検疫の幅広さと重要性を学ぶことができました。現在は、空港での携帯品検査業務や犬猫の輸出入の業務を中心に行っています。日々業務にあたる中で、一般の方への説明の難しさや、自分で判断をすることへの不安と責任を感じています。畜産物や犬猫の輸出入検査件数が多く、様々な事例に対応する機会の多い環境で学んでいることに感謝し、より多くの経験を積んでいきたいと思っています。まだまだ未熟で、判断に迷うことも多く、自分の知識理解不足を痛感することばかりで、先輩方からの御指導をいただきながら勉強の毎日です。今後、家畜防疫官として臨機応変な対応に、的確な判断ができるように関係法令の理解を深め、知識を自分のものにできるよう努めていきたいと思っています。

○森笹 柚香（成田支所旅具検疫第2課）

この半年間、空港や港、係留施設など様々な部署で多くのことを学ぶことができ、充実した研修期間となりました。研修を通して、家畜防疫官として判断することの重み、様々な状況に対して的確に対応する力が求められることを実感しました。空港の検査カウンターでの輸入検査や出国検査場での未検疫物品対応などの度に、迅速かつ的確な判断の難しさを感じるとともに、関係法令の理解をさらに深めなければならないと強く思います。家畜防疫官になるまで半年を切りました。今後の目標は、畜産物や犬・猫の輸出入検査への知識と的確な判断力の更なる向上です。これからも多くのことに関心を持ち、努力を惜しまずに勉強を続けていきます。10月から夜勤班の一員として勤務していますが、責任感を持ち、ひとつひとつの業務を正確にこなしていきたいと思えます。

○本間 雅也（成田支所旅具検査第2課）

私は平成31年4月に成田空港支所に配属され、主に旅客の携帯品検査業務や犬猫等の輸出入検査業務を行ってきました。また、研修期間中は様々な研修を受けさせていただきました。高尾・筑波での研修では、農林水産省職員として働く上での心構えを学びました。7月には羽田空港支所東京出張所において、畜産物の輸出入検査業務、外国郵便検査業務の研修を受けました。日々の業務をする中で、私たちの業務は関係法令がベースとなっており、それを的確に理解し、一般の方に分かりやすく伝えていく必要があると強く感じています。日々の業務を通して上司や先輩方から多くを学ぶことで次々と浮かんでくる疑問を解消し、来年度からは家畜防疫官としてより一層の自覚と責任を持ち、気を引き締めて業務を遂行していきたいと思っています。

○今井 恵久美（成田支所貨物検査課）

成田支所の貨物検査課に配属されて半年以上が過ぎました。入所してからの数か月は港での船舶貨物の業務や動物係留施設の業務など、いくつもの研修に参加し、貴重な経験を積ませて頂きました。

現在はようやく自分の課に腰を落ち着かせ業務に励んでいます。日々様々な畜産物が輸入されるので、書類検査や現物検査に追われています。特に週明けの月曜日などは一息つく間もなく午前中が過ぎ、あっという間に一日が終わっていることがほとんどです。限られた人数で非常に多くの業務をこなさないとならないので、検査では適切かつ迅速な判断が求められるということを実感しています。また、貨物検査課には毎日多くの問合せが寄せられます。何をどこから輸入あるいは輸出したいのか聞き取り、正確な情報を伝えるということは思った以上に難しく、自分が理解していないことは相手にも上手く伝わらないということはこの数か月で痛感しました。

私も諸先輩方のような家畜防疫官になれるよう、問題意識を持って検査に当たり、家畜伝染病の侵入防止のための知識を深める努力したいと思っています。

・人事異動

（令和元年10月2日～12月1日）

（令和元年10月2日）

横澤 輝美 育児休業（門司支所博多出張所）

（令和元年10月19日）

坂田 結実 育児休業（成田支所旅具検査第2課）

（令和元年10月28日）

富山 千恵 育児休業（羽田空港支所東京出張所）

（令和元年11月1日）

竹田 千子 成田支所旅具検査第2課（羽田空港支所検査第1課）

今井 智子 検査部畜産物検査課（臨時的任用）

長谷川健一 成田支所旅具検査第1課（臨時的任用）

清水万里江 成田支所旅具検査第2課兼消費・安全局動物衛生課（成田支所旅具検査第2課）令和元年12月31日まで

（令和元年11月9日）

村方 佳代 育児休業（検査部畜産物検査課主任検査官）

下久保奈都美 配偶者同行休業（川崎出張所）

（令和元年11月16日）

尾藤麻希子 育児休業（羽田空港支所検査第1課主任検査官）

（令和元年11月25日）

大江 紗希 職務復帰（羽田空港支所検査第1課）

（令和元年11月30日）

西銘 浩平 退職（川崎出張所（臨時的任用））

（令和元年12月1日）

池嶋 理奈 成田支所旅具検査第1課兼羽田空港支所東京出張所（成田支所旅具検査第1課）令和元年12月31日まで

余地 晃典 成田支所旅具検査第2課（新規採用）

平山 広之 成田支所貨物検査課（臨時的任用）

◎畜産物・動物の輸出入検疫数量実績（令和元年9月、10月）

●輸入畜産物（前年同月比）

9月分の全体の輸入量は前年同月比113.6%と増加しました。また、10月分の全体の輸入量は前年同月比97.3%と減少しました。

●輸出畜産物（前年同月比）

9月分の全体の輸出量は前年同月比130.1%と増加しました。また、10月分の全体の輸出量は前年同月比102.7%と増加しました。

（単位：KG、アンブル、個）

品目名		輸入		輸出		
		9月	10月	9月	10月	
骨類	骨	1,935,564	2,027,837	—	420	
	碎骨	771,265	951,202	20,000	—	
	蹄角	34,728	49,555	—	—	
	骨髄	19,931	24,745	—	—	
	蹄角粉	62,994	63,000	—	—	
	その他の骨	—	—	—	—	
	計	2,824,482	3,116,339	20,000	420	
肉類	牛肉	冷蔵	24,935,986	30,090,027	180,767	184,604
		冷凍	28,280,295	32,285,909	212,171	245,423
		その他	30,108	12,004	—	—
		加熱処理	180,975	147,420	—	—
	豚肉	冷蔵	29,455,008	37,262,751	3,984	2,344
		冷凍	62,927,529	64,676,101	204,902	291,089
		その他	9,251	167	—	—
		加熱処理	1,224,431	1,277,368	—	—
	めん羊肉	1,271,982	1,414,981	—	—	
	山羊肉	22	39,207	—	—	
	鹿肉	4,918	—	—	19	
	その他の偶蹄類肉	—	704	—	—	
	加熱処理その他の偶蹄類肉	3,250	—	—	—	
	ハム	280,879	254,800	62	84	
	加熱処理ハム	13,812	21,739	—	—	
	ソーセージ	1,122,513	1,717,847	299	256	
	加熱処理ソーセージ	1,057,100	1,058,459	—	—	
	ベーコン	203,085	231,344	112	197	
	加熱処理ベーコン	1	385	—	—	
	馬肉	498,221	500,787	—	—	
	うさぎ肉	3,072	2,496	—	—	
	犬肉	—	—	—	—	
	家きん肉	57,480,508	58,611,752	732,902	600,473	
	家きん加熱処理肉	36,469,831	41,022,394	—	—	
	非加熱 その他の肉	牛	468,613	766,171	10	193
		豚	59,141	103,102	7	24
		家きん	76,305	153,253	6,872	45,905
その他		59,652	118,276	7,806	23,670	
加熱処理 その他の肉	牛	345,577	479,631	—	—	
	豚	2,494,824	3,071,749	—	—	
	家きん	3,242,779	3,286,351	—	—	
	その他	756,328	841,518	—	—	
計	252,955,993	279,448,695	1,349,896	1,394,280		
臓器類	牛臓器	155,176	84,679	57	—	
	豚臓器	49,593	43,761	—	—	
	その他の偶蹄類臓器	13,625	4,360	—	—	
	加熱処理牛の臓器	—	—	—	—	
	加熱処理豚の臓器	—	—	—	—	
	加熱処理その他の偶蹄類臓器	—	—	—	—	
	偶蹄類以外の臓器	98,183	113,238	312	827	
	消化管等	2,897,277	3,198,677	11,776	28,517	

品目名		輸入		輸出	
		9月	10月	9月	10月
臓器類	加熱処理消化管等	-	-	-	-
	ケーシング	332,036	389,267	-	-
	脂肪	4,224,033	3,275,523	-	3
	非加熱その他の臓器	39	-	-	-
	加熱処理その他の臓器	-	-	-	-
	加熱処理家きん臓器	186,920	252,196	-	-
	加熱処理その他の家きん臓器	9,900	38	-	-
	計	7,966,780	7,361,739	12,144	29,347
卵類	殻付卵	-	23	713,559	899,081
	液卵	481,229	552,957	3,024	2,016
	その他の卵	-	16	15,793	16,852
		計	481,229	552,995	732,376
皮類	牛皮	2,835,605	2,797,936	690,769	987,593
	豚皮	59,111	64,915	4,806,358	5,674,726
	めん羊皮	-	44,684	-	-
	山羊皮	175	-	-	-
	鹿皮	24,357	13,982	-	-
	その他の偶蹄類の皮	-	-	-	-
	馬皮	109,635	63,660	-	-
	うさぎ皮	19,500	50,098	-	-
	犬皮	-	-	-	-
	その他の皮	-	-	-	-
	計	3,048,382	3,035,275	5,497,127	6,662,319
毛類	牛毛	-	-	-	-
	豚毛	7,165	2,250	-	-
	羊毛	114	907	-	-
	山羊毛	13,765	10,461	42	-
	鹿毛	-	200	-	-
	その他の偶蹄類の毛	-	11,911	-	-
	馬毛	3,679	2,659	-	-
	うさぎ毛	-	2,010	-	-
	羽毛	332,902	359,155	13,306	11,747
	犬毛	-	-	-	-
	その他の毛	-	-	161	200
	計	357,625	389,554	13,509	11,947
乳製品類	チーズ	19,478,691	25,437,442	1,351	1,747
	バター	1,696,486	1,560,653	-	59,204
	偶蹄類動物の飼料用乳製品	4,539,461	5,835,900	-	-
	その他の乳製品	3,964,012	5,273,428	121,980	110,746
		計	29,678,650	38,107,423	123,330
ミール類	血粉	193,508	137,638	-	-
	肉粉	-	4,830	-	-
	肉骨粉	-	-	-	-
	皮粉・羽毛粉	-	-	-	-
		計	193,508	142,468	0
その他	精液（アンプル）	55,715	35,365	-	-
	受精卵（個）	210	272	-	-
	ふん・尿	-	-	15	-
		計	0	0	15
わら類	穀物のわら	19,710,920	22,378,950	-	-
	飼料用の乾草	-	-	-	-
	その他	215,190	171,980	-	-
		計	19,926,110	22,550,930	0
	総計	317,432,759	354,705,417	7,748,397	9,187,958

※ 解放重量ベースの速報値

(単位：頭、羽、群)

動物名	用途	輸入		輸出	
		9月	10月	9月	10月
牛	乳用繁殖用	335	323	-	-
	肉用繁殖用	-	-	-	-
	肥育用	1,465	1,496	-	-
	と畜場直行用	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
豚	繁殖用	15	50	-	-
	その他	-	-	-	-
めん羊		-	-	-	-
山羊		-	-	-	-
その他の偶蹄類		-	-	-	-
馬	繁殖用	3	5	-	5
	乗用	14	23	1	-
	競走用	5	41	6	9
	肥育用	563	311	-	-
	と畜場直行用	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
その他の馬科		-	-	-	-
うさぎ		131	286	6	10
初生ひな（鶏）		55,388	36,709	-	-
初生ひな（その他）		-	-	-	-
種卵（個）		-	-	-	-
蜜蜂（群）		-	-	-	-
指定検疫物以外の動物				9,247	11,429
犬		444	506	506	449
猫		271	191	193	159
きつね		-	-	-	-
スカンク		-	-	-	-
サル		240	1,328		

◎令和元年10月～11月の出来事

- クロアチアから日本向けに輸出される牛肉及び臓器並びにそれらを原料とするソーセージ、ハム及びベーコンの家畜衛生条件を締結（10月4日）
- 令和元年度支所長会議を開催（10月7日）
- イタリアから日本向けに輸出される牛肉及び牛の内臓の家畜衛生条件を改正（10月21日）
- CSF 発生県での飼養豚へのワクチン接種を開始（10月25日）
- マカオ向けの食用殻付き卵の輸出が解禁（11月1日）
- 令和元年度畜霊祭を開催（横浜）（11月6日）



元号が平成から令和に変更された本年も締めくくりを迎えています。

動物検疫所では、昨年に引き続き CSF・ASF 対応に追われ、携帯品検査の厳格化開始で何件もの逮捕者が出るなど、元号と共に大きく揺らいだ年でした。

みなさま、良いお年を。

◎動検通信（成田支所長）

アジア地域での ASF の発生拡大を受け成田支所でも水際検疫強化を進めています。ヒト（家畜防疫官）、物（検疫探知犬など）、金（予算）の3つの資源をフル活用することが必要です。

生体や肉製品は悪性伝染病の発生地域からは輸入が禁止され、肉製品は加熱によりリスク低減しなければ輸入ができないというルールに従って輸入されています。一方で旅客の携帯品や郵便物に含まれる肉製品はこのルールに従っているものはほとんどなく、量は少ないものの ASF などの病原体持込みリスクは大きいといえます。このことから検疫強化の重点は携帯品や郵便物の検査であると考えています。

これまでは検査の対象ごとの資源を業務の合理化、効率化により同じ分野内で再配分してきました。これを分野別戦略とすれば、今必要なのは支所の全体戦略といえます。

全体戦略では業務を合理性と効率性の観点から洗い直し、資源を大きく再分配することを意識します。貨物畜産物分野では輸入品ごとのリスクに応じた現物検査、書類検査方法の明確化などにより合理化を進めており、犬猫の輸出入窓口の一元化によっても人的資源の再配分が可能となりました。倍増する検疫探知犬による早朝から夜間便、加えて茨城空港の到着便をカバーできる人的体制も全体戦略なくしては成し遂げられません。

また、検疫探知犬の活用方法の工夫、使用頻度の低い事務所の廃止、靴底消毒方法の工夫などにより経費を節減する取組も行っています。

今秋、千葉県は度重なる台風により甚大な被害を受け、成田空港も交通アクセスが長時間途絶し陸の孤島と化しました。15号台風では、職員の出退勤が困難になり、天浪係留場では数日間の停電で検査室が機能不全となりました。泊まり勤務者がいるので検査要員は確保できるとの予断もあり、想定以上に長引く被害に検査要員の確保に苦慮しました。

我々にとって最も大切な資源はヒトであることを改めて認識しています。検査に明け暮れる日々ですが、その成果を実感させ、様々な体験をも通して達成感を抱かせることでモチベーションを高め、若い職員を育てていくことが大切です。

これからもしっかりと知恵を絞っていかねばならないと思う毎日です。

最新のトピックスは
こちらへ➡

動物検疫所のホームページ <http://www.maff.go.jp/aqs/>

農林水産省のホームページ <http://www.maff.go.jp/>

OIE のホームページ http://www.oie.int/eng/en_index.htm

動検時報はこちらにも掲載しています。
<http://www.maff.go.jp/aqs/topix/pamphlet.html#jiho>



編集・発行 農林水産省
動物検疫所企画管理部
横浜市磯子区原町 11 - 1
(045) - 751 - 5921